

特定事業者の地球温暖化対策の 実施状況等の調査結果 (特定事業者のアンケート調査結果)

岡山県環境文化部
新エネルギー・温暖化対策室

1 調査の概要

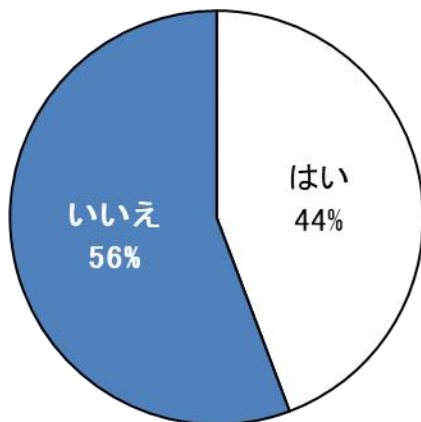
- 岡山県地球温暖化防止行動計画の改定に当たり、CO₂排出量の推計及び今後の地球温暖化対策の検討のために、岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度に基づく特定事業者の脱炭素に関する意向及び取組状況をアンケートにより調査した。
- 調査対象である特定事業者の回答率は55.3%であった。

調査対象	特定事業者(333者)
調査期間	6月8日から6月28日まで
回答率	55.3%(184者/333者)

2 調査結果

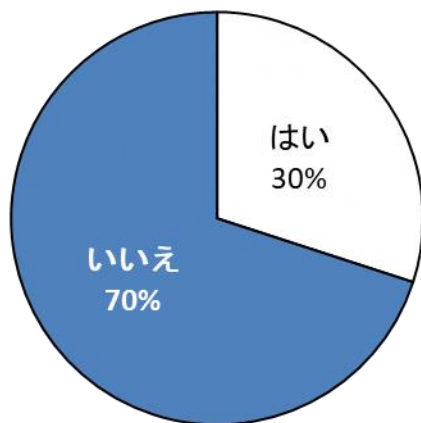
➤ Q1 貴社は中小企業ですか。

※「中小企業」とは、中小企業基本法で定める中小企業



回答の種類	回答数
はい	81
いいえ	102
合計	183

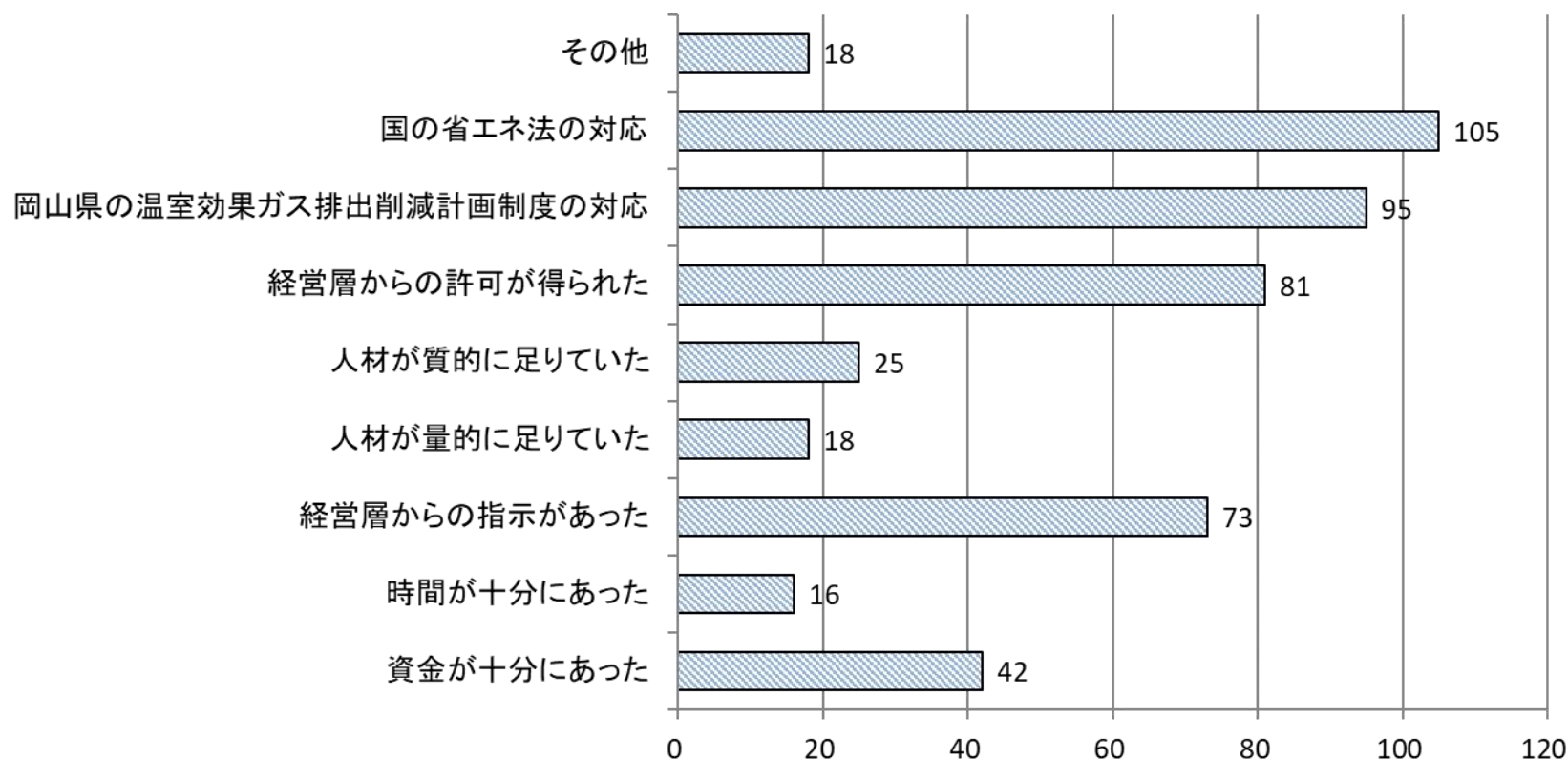
➤ Q1 「はい」と答えた方は、大企業との資本関係はありますか。



回答の種類	回答数
はい	24
いいえ	56
合計	80

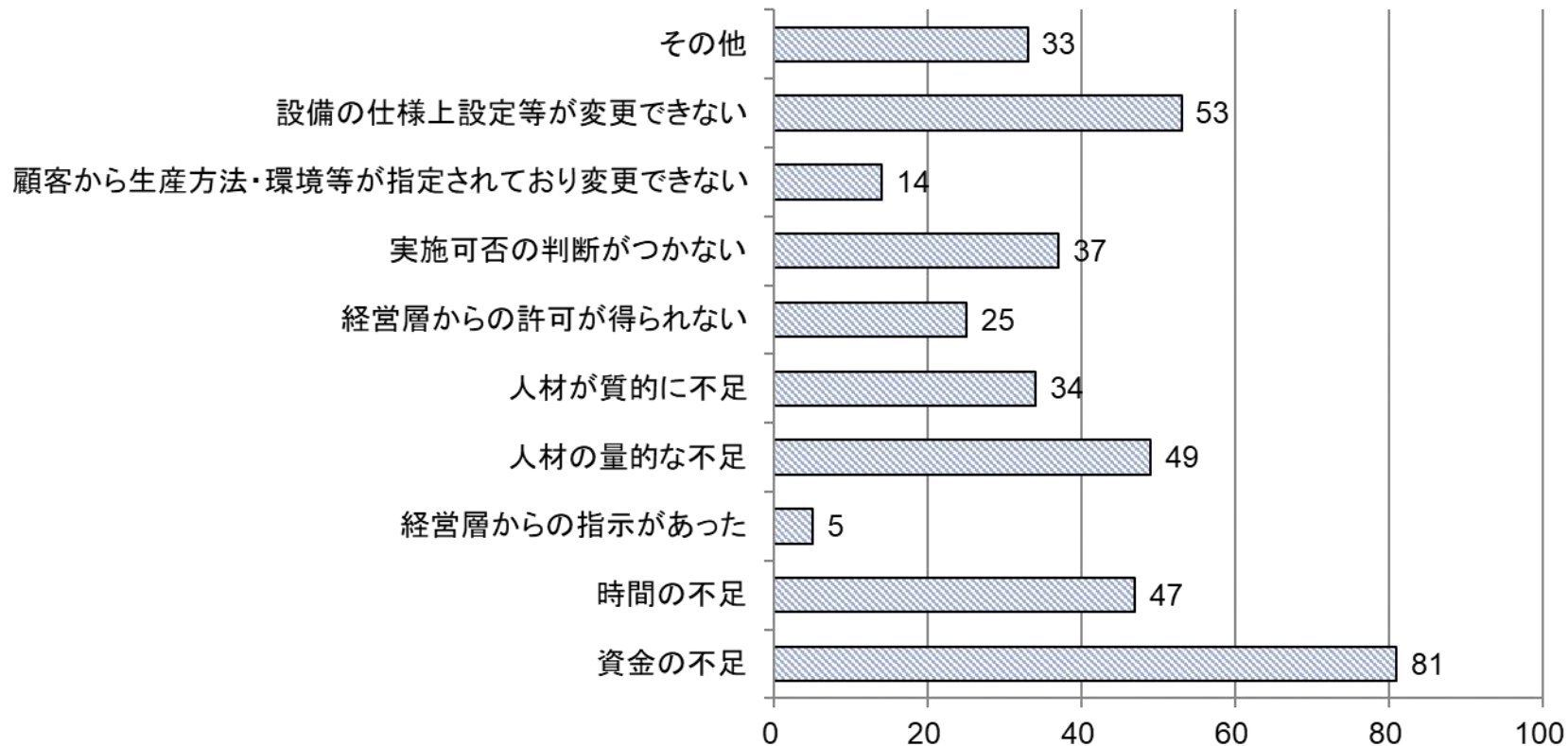
2 調査結果

- Q2 これまでに県内の事業所で実施できた省エネ対策等の地球温暖化対策について、実施できた要因として当てはまるものを全て選択してください。（複数選択可）



2 調査結果

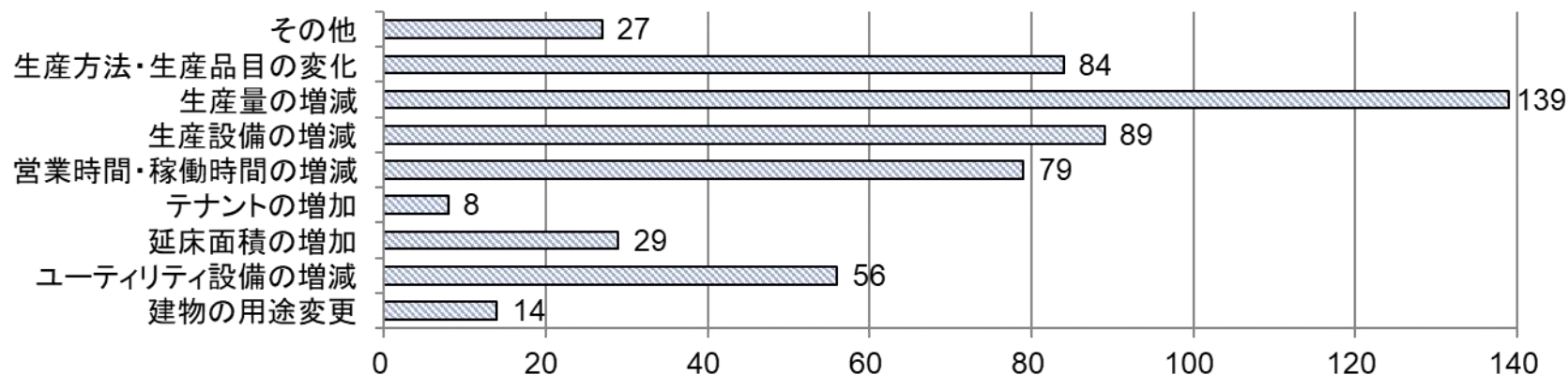
- Q3 これまでに県内の事業所で実施できなかった省エネ対策等の地球温暖化対策について、実施できなかった理由として当てはまるものを全て選択してください。（複数選択可）



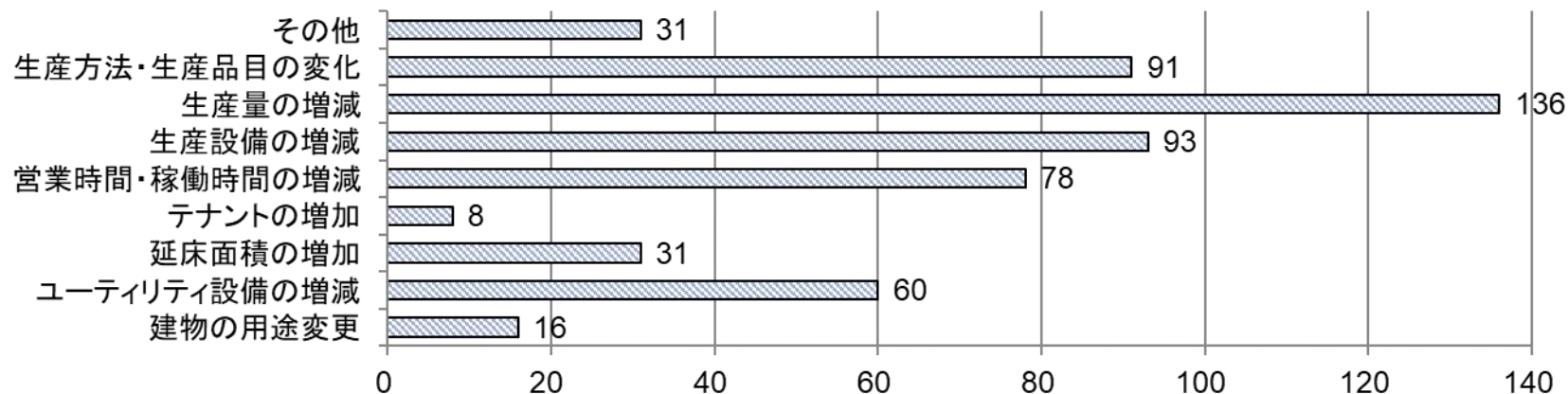
2 調査結果

- Q4 省エネ対策以外に、貴社の温室効果ガス排出量の増減に影響を及ぼした(または今後影響を及ぼすことが予想される)要因として考えられるものを全て選択してください。
- ※今後とは2023年度以降(複数選択可)

<過去>

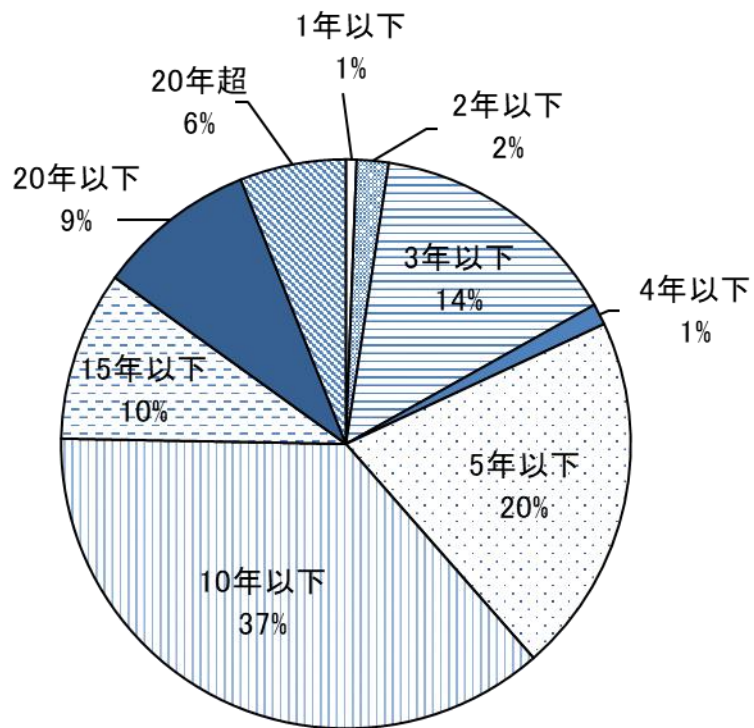


<今後>



2 調査結果

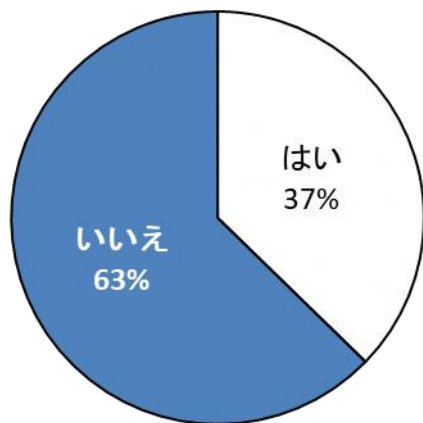
➤ Q5 貴社では、設備更新を検討する際、判断基準となる投資回収年は何年ですか。



回答の種類	回答数
1年以下	1
2年以下	3
3年以下	24
4年以下	2
5年以下	34
10年以下	61
15年以下	16
20年以下	15
20年超	10
合計	166

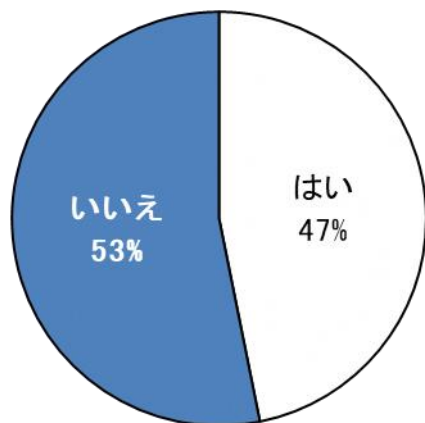
2 調査結果

- Q6 貴社が現在契約している小売電気事業者を選択する際に、コスト面以外に「電気の排出係数」も加味しましたか。



回答の種類	回答数
はい	66
いいえ	111
合計	177

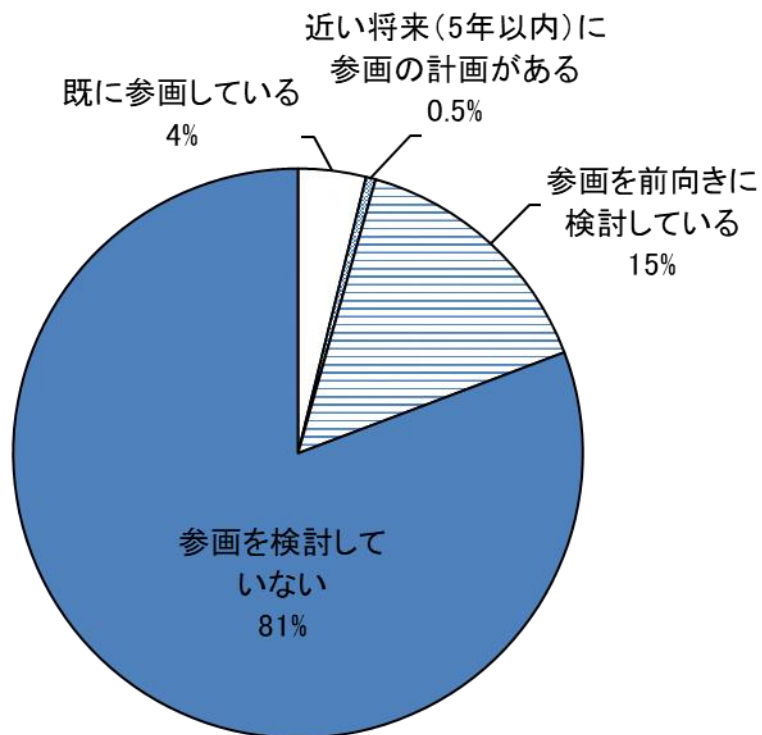
- Q6 「いいえ」と答えた方は、今後加味する余地はありますか。



回答の種類	回答数
はい	52
いいえ	59
合計	111

2 調査結果

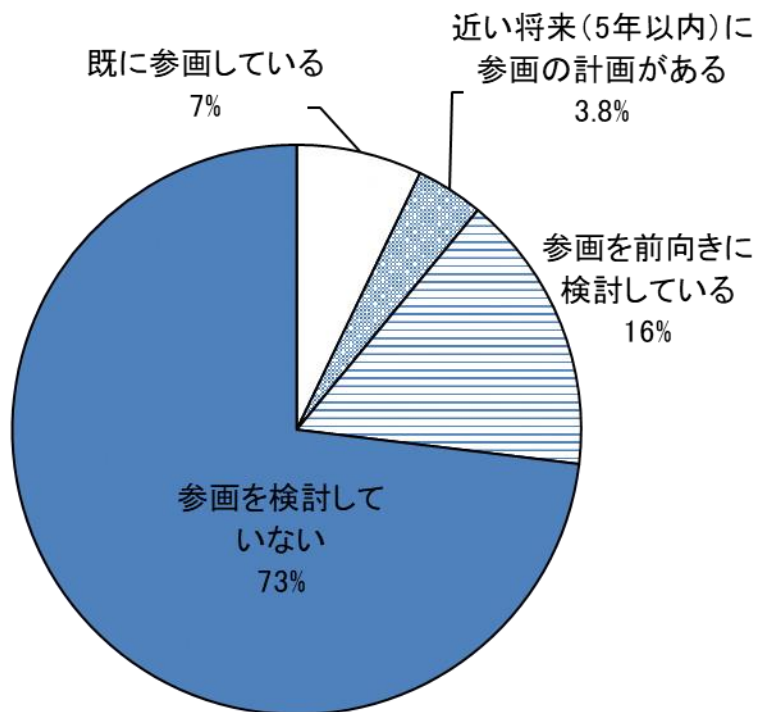
➤ Q7 貴社は、RE100(RE Action含む)に参加されていますか。



回答の種類	回答数
既に参加している	7
近い将来(5年以内)に参加の予定がある	1
参加を前向きに検討している	27
参加を検討していない	147
合計	182

2 調査結果

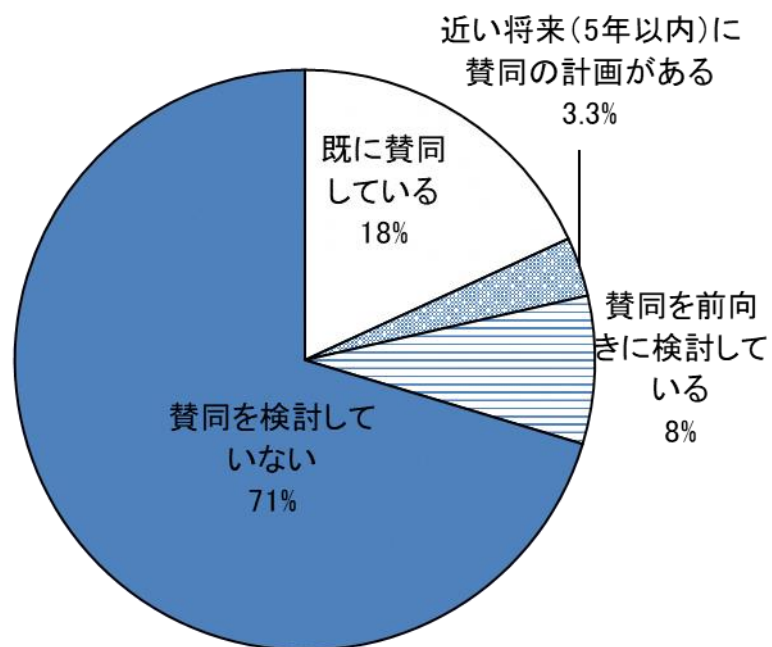
➤ Q8 貴社は、SBTに参画されていますか。



回答の種類	回答数
既に参画している	13
近い将来(5年以内)に参画の予定がある	7
参画を前向きに検討している	29
参画を検討していない	133
合計	182

2 調査結果

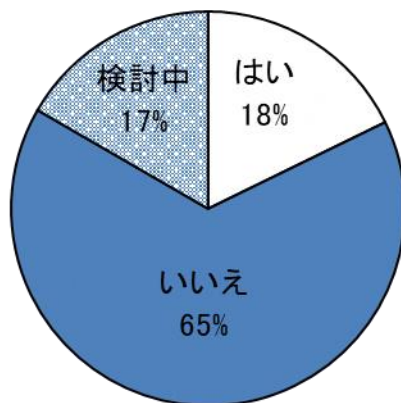
➤ Q9 貴社は、TCFDに賛同されていますか。



回答の種類	回答数
既に賛同している	33
近い将来(5年以内)に賛同の予定がある	6
賛同を前向きに検討している	15
賛同を検討していない	128
合計	182

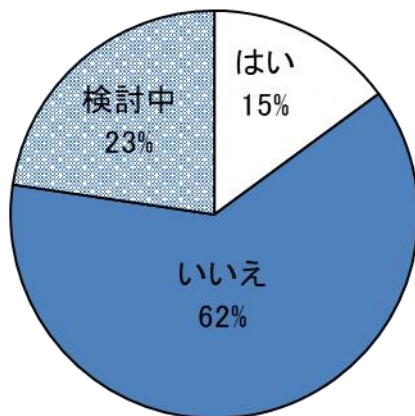
2 調査結果

- Q10 サプライチェーンの温室効果ガスを計算されていますか。(Scope3については全てのカテゴリーを含んでなくて構いません。)



回答の種類	回答数
はい	32
いいえ	118
検討中	30
合計	180

- Q10 サプライチェーンにおいてエネルギー使用量、温室効果ガス排出量の削減を実施されていますか。

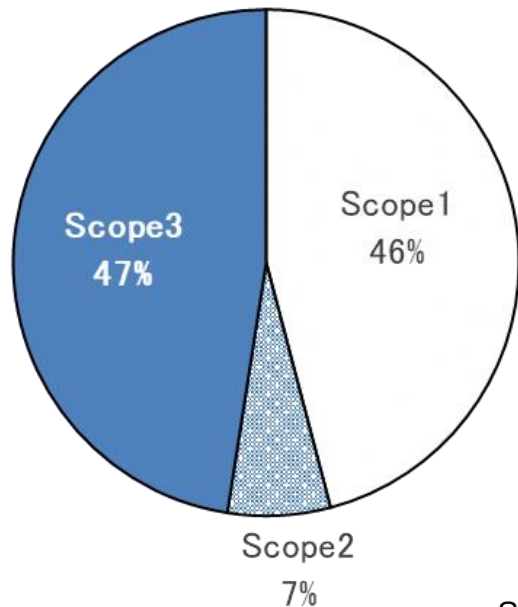


回答の種類	回答数
はい	27
いいえ	113
検討中	41
合計	181

2 調査結果

- Q10 「はい」と答えた方は、サプライチェーンでの取組の内容をお答えください。(効果の大きいと考える取組を3つまで)

取組内容の分類



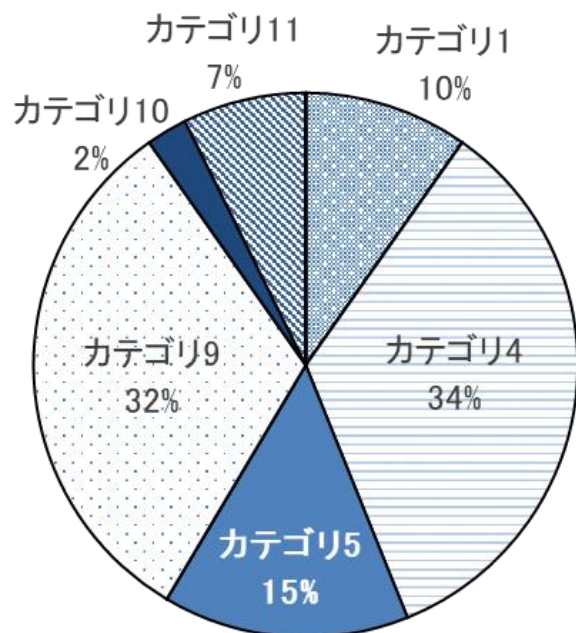
回答の種類	回答数	回答例
Scope1	28	- 照明設備のLED化 - 省エネ機器の導入 - 運用改善等による機器電力消費削減 - 営業車のハイブリッド車両への変更
Scope2	4	- 自家使用を目的とする太陽光発電設備の導入 - 小売電気事業者の見直し
Scope3	29	※詳細は次ページ

Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
 Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
 Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

2 調査結果

- Q10 「はい」と答えた方は、サプライチェーンでの取組の内容をお答えください。(効果の大きいと考える取組を3つまで)

Scope3のカテゴリ分類

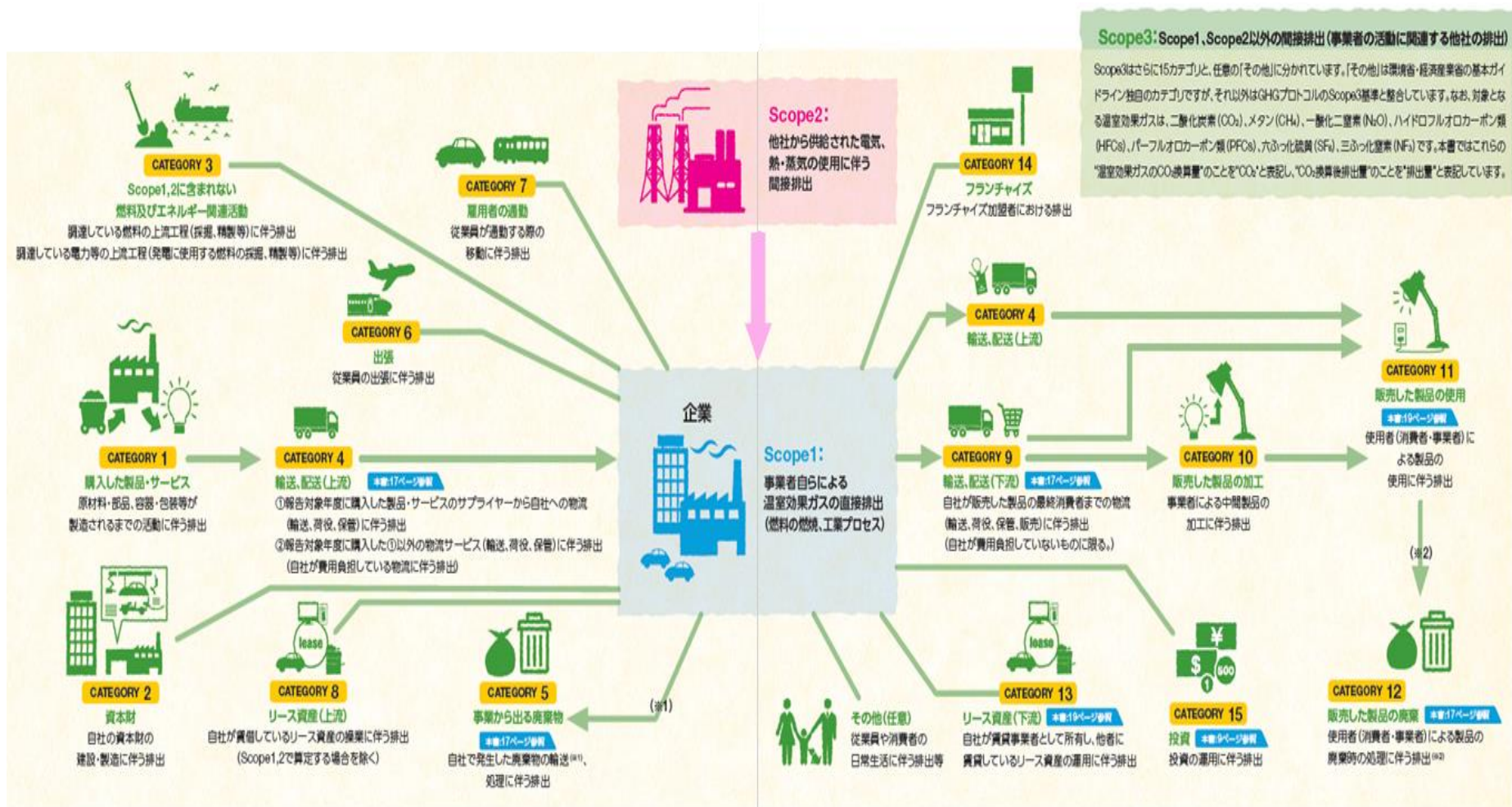


カテゴリ	回答数	回答例
カテゴリ1	4	不良品低減による材料の削減
カテゴリ4	14	- 輸送のモーダルシフト - 輸送車両運行の削減
カテゴリ5	6	- 歩留の向上による廃棄物の削減 - リサイクルの推進
カテゴリ9	13	輸送用燃料使用量の削減
カテゴリ10	1	製品加工段階における環境負荷の調査を、適宜顧客に対して実施
カテゴリ11	3	環境配慮型商品の開発により、製品の使用に伴うCO₂排出削減

※輸送に伴う取組の回答において、上流・下流を区別が判断できない場合、カテゴリ4とカテゴリ9の両方に重複して集計した。

2 調査結果

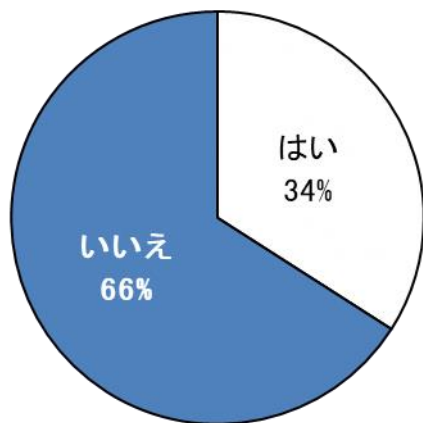
＜参考＞サプライチェーン排出量におけるScope1、Scope2及びScope3のイメージ



出典: サプライチェーン排出量算定の考え方 (環境省)

2 調査結果

➤ Q11 現在、県内の事業所に太陽光発電設備を導入されていますか。



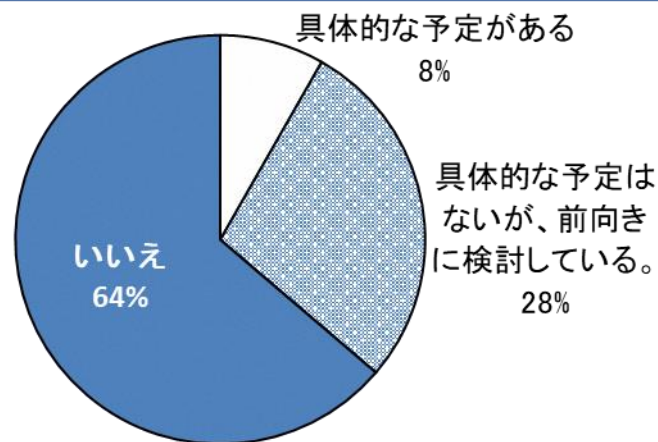
回答の種類	回答数
はい	62
いいえ	120
合計	182

➤ Q11 「はい」と答えた方は、導入事業所名、発電容量、自家消費の状況をお答えください。
(複数の事業所にある場合、容量の大きい上位5事業所、小規模な設備も含む。)

自家消費の状況	容量(kW)	事業所数
全量自家消費	5,551	63
一部自家消費	117,285	18
全量売却	42,299	32
不明	0	2
合計	165,135	115

2 調査結果

- Q12 今後(2030年度までに)、県内の事業所に太陽光発電設備を導入される予定はありますか。



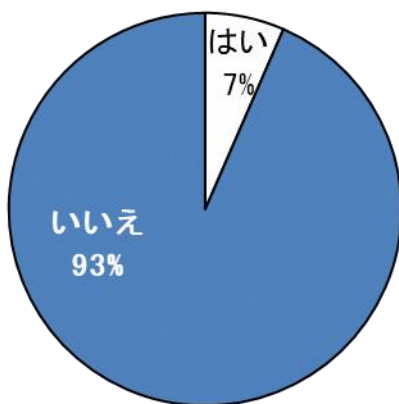
回答の種類	回答数
具体的な予定がある	15
具体的な予定はないが、前向きに検討している	50
いいえ	117
合計	182

- Q12 「具体的な予定がある」、「具体的な予定はないが、前向きに検討している」と答えた方は、県内の導入予定の発電容量及び自家消費の予定をお答えください。

自家消費の状況	容量(kW)	事業所数
全量自家消費	11,448	30
一部自家消費	740	2
全量売電	30	1
検討中	0	2
未定	0	6
不明	0	1
合計	12,218	42

2 調査結果

➤ Q13 現在、県内の事業所に太陽光発電設備以外の再エネ設備を導入されていますか。



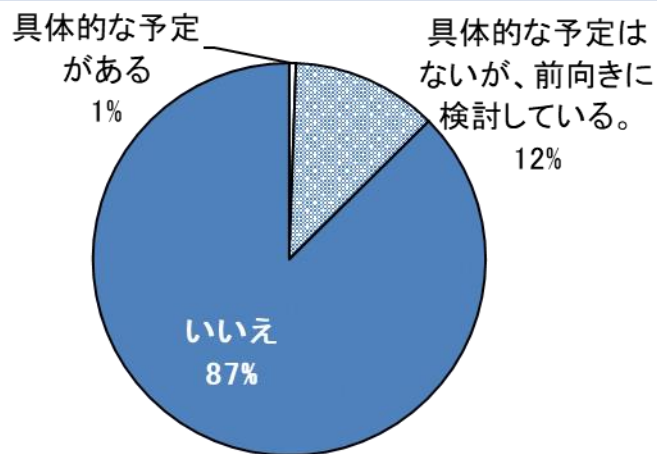
回答の種類	回答数
はい	12
いいえ	172
合計	184

➤ Q13 「はい」と答えた場合、導入している再エネ設備の種類、規模(容量)をお答えください。

再エネ設備の種類	規模(容量)	単位	事業所数
風力発電設備	1	kW	1
小水力発電設備	61,696	kW	5
バイオマス利用設備	18,025	kW	4

2 調査結果

- Q14 今後(2030年度までに)、県内の事業所に太陽光発電設備以外の再エネ設備を導入される予定はありますか。



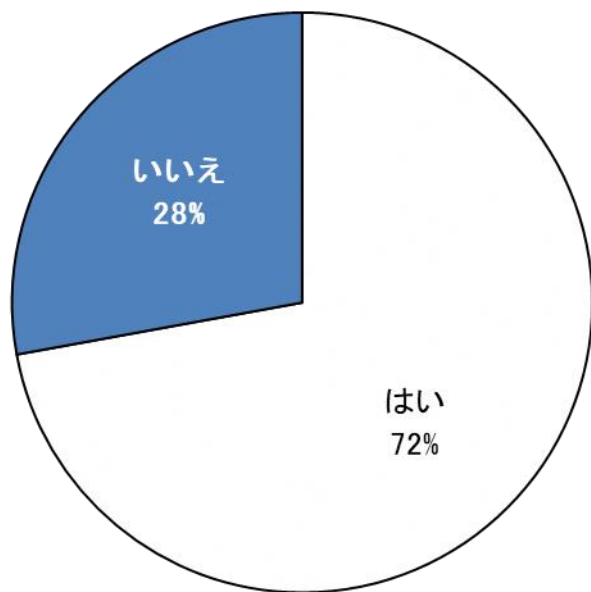
回答の種類	回答数
具体的な予定がある	1
具体的な予定はないが、前向きに検討している	22
いいえ	160
合計	183

- Q14 「はい」と答えた方は、導入意向のある再エネ設備を記入してください。

再エネ設備の種類	件数
風力発電設備	2
小水力発電設備	2
バイオマス利用設備	1
可燃ごみによる発電設備	1

2 調査結果

- Q15 貴社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量の将来の目標値は設定されていますか。(グループとしての目標でも構いません)



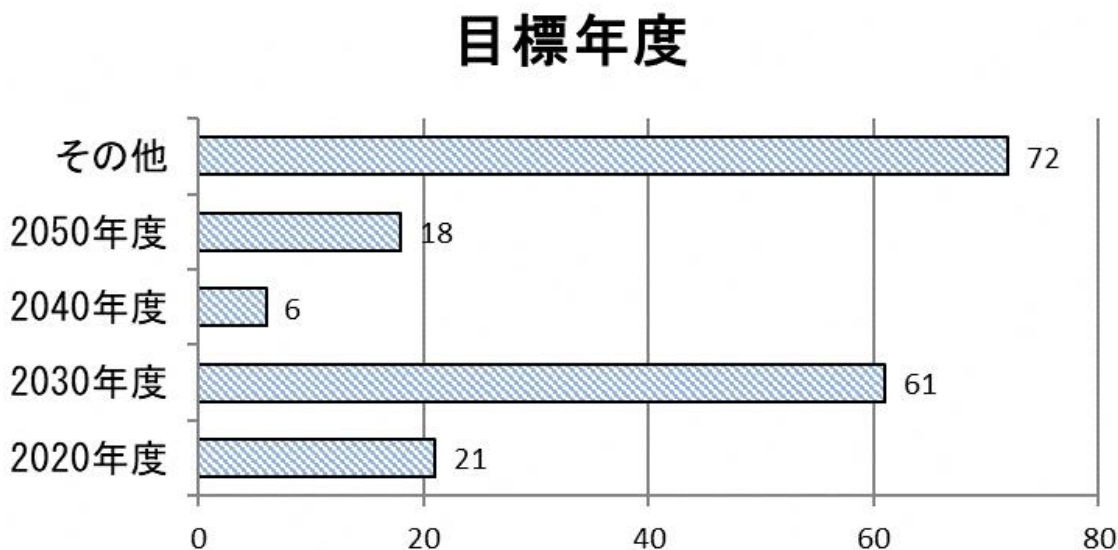
回答の種類	回答数
はい	132
いいえ	51
合計	183

2 調査結果

➤ Q15 「はい」と答えた方は、目標年度、基準年度、削減対象(温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、エネルギー消費原単位)、基準年度に対する削減率をお答えください。(複数選択可)

※削減の対象が複数ある場合、温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、エネルギー消費原単位の順に優先して選択してください。

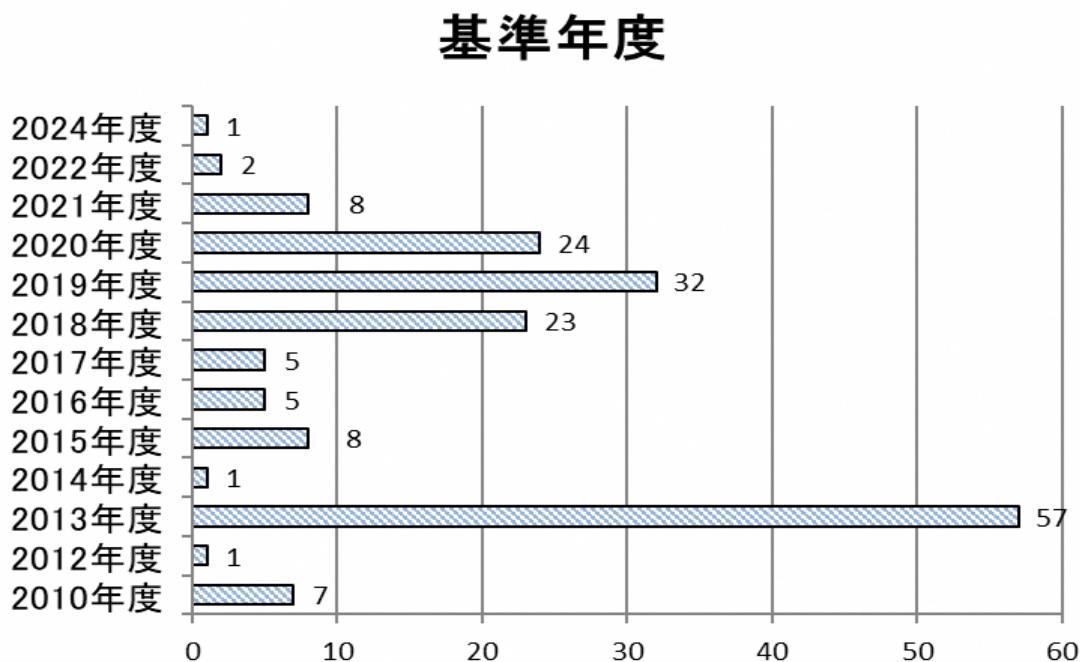
※「その他」は、2020年度、2030年度、2040年度、2050年度以外の年度の場合、ご記入ください。



目標年度	回答数
2020年度	21
2030年度	61
2040年度	6
2050年度	18
その他	72
合計	178

2 調査結果

- Q15 「はい」と答えた方は、目標年度、基準年度、削減対象(温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、エネルギー消費原単位)、基準年度に対する削減率をお答えください。(複数選択可)

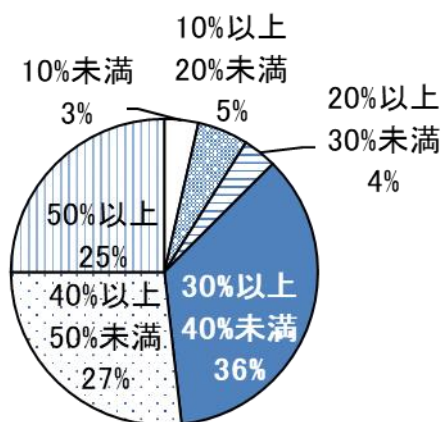


目標年度	回答数
2010年度	7
2012年度	1
2013年度	57
2014年度	1
2015年度	8
2016年度	5
2017年度	5
2018年度	23
2019年度	32
2020年度	24
2021年度	8
2022年度	2
2024年度	1
合計	174

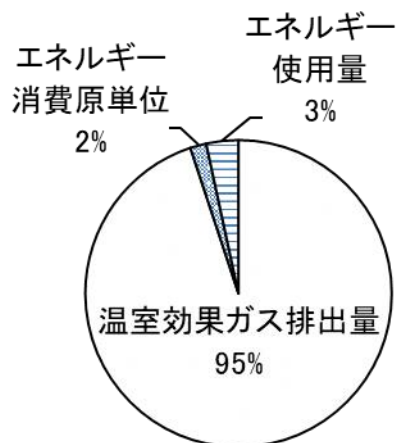
2 調査結果

- Q15 「はい」と答えた方は、目標年度、基準年度、削減対象(温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、エネルギー消費原単位)、基準年度に対する削減率をお答えください。(複数選択可)

2030年度目標の削減率
(※温室効果ガス排出量のみ)



削減対象



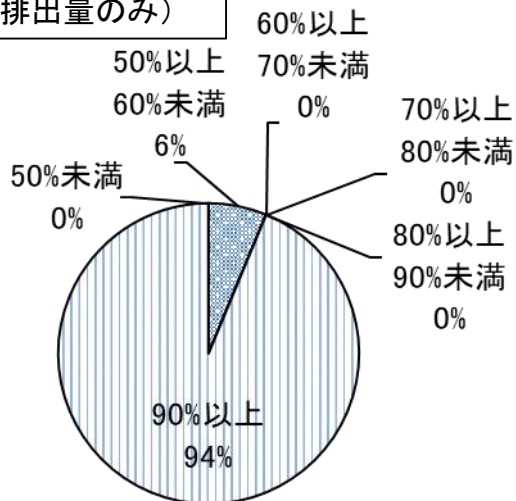
削減対象	事業者数
10%未満	2
10%以上20%未満	3
20%以上30%未満	2
30%以上40%未満	20
40%以上50%未満	15
50%以上	14
合計	56

削減対象	事業者数
温室効果ガス排出量	56
エネルギー消費原単位	1
エネルギー使用量	2
合計	59

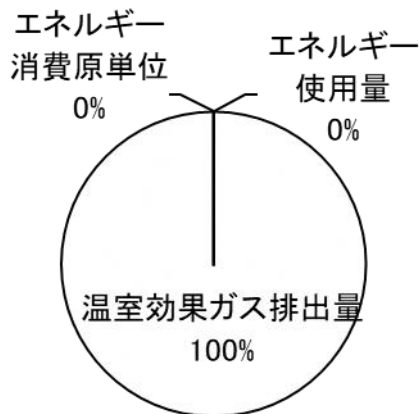
2 調査結果

- Q15 「はい」と答えた方は、目標年度、基準年度、削減対象(温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、エネルギー消費原単位)、基準年度に対する削減率をお答えください。(複数選択可)

2050年度目標の削減率
(※温室効果ガス排出量のみ)



削減対象

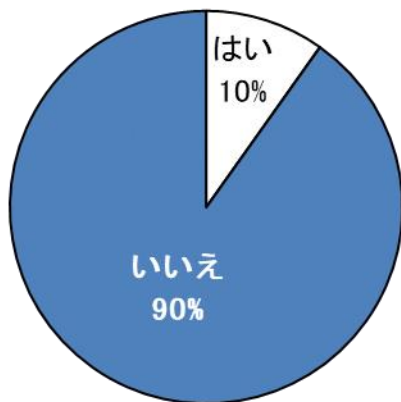


削減対象	事業者数
50%未満	0
50%以上60%未満	1
60%以上70%未満	0
70%以上80%未満	0
80%以上90%未満	0
90%以上	15
合計	16

削減対象	事業者数
温室効果ガス排出量	16
エネルギー消費原単位	0
エネルギー使用量	0
合計	16

2 調査結果

- Q16 国内の事業所で、再エネ証書を活用されていますか(又は活用されたことがありますか)。



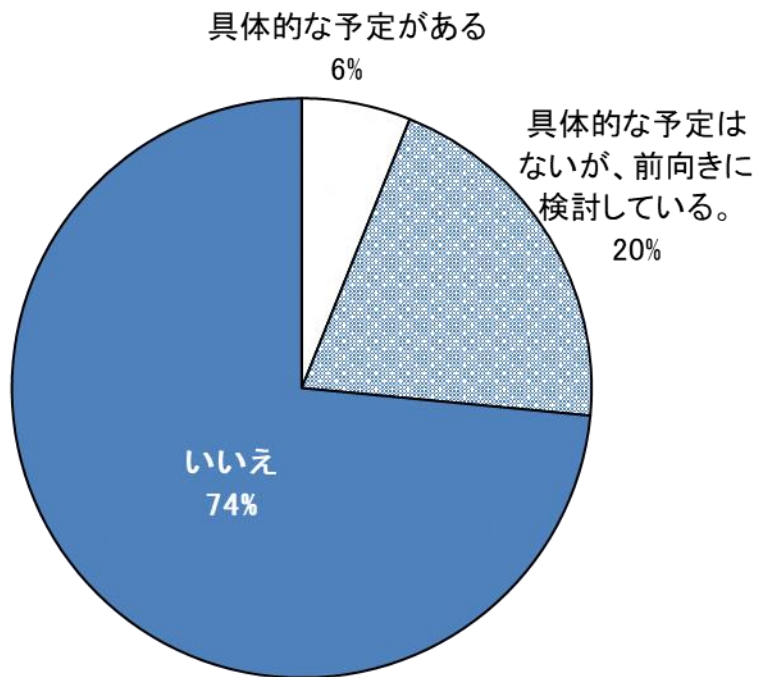
回答の種類	回答数
はい	18
いいえ	165
合計	183

- Q16 「はい」と答えた方は、活用されている(又は活用されたことのある)再エネ証書をお答えください。(複数選択可)

再エネ証書の種類	回答数
オフセット・クレジット制度(J-VER)	3
Jクレジット制度	5
非化石証書	8
グリーン電力証書	6
合計	22

2 調査結果

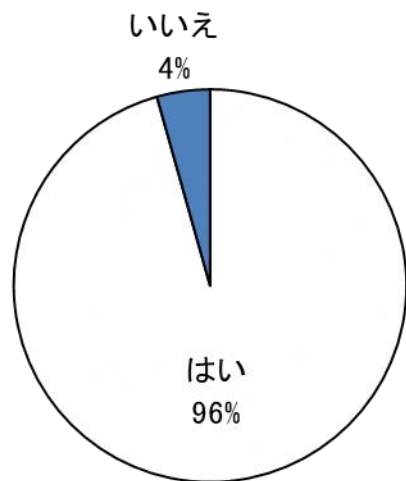
➤ Q17 今後(2030年度までに)、国内の事業所で再エネ証書を活用される予定はありますか。



回答の種類	回答数
具体的な予定がある	11
具体的な予定はないが、前向きに検討している	37
いいえ	133
合計	181

2 調査結果

➤ Q18 社有車(自動車)を所有されていますか。



回答の種類	回答数
はい	175
いいえ	8
合計	183

➤ Q18 「はい」と答えた方は、乗用車、トラックの区分でそれぞれ何台あるかお答えください。また、そのうち、エコカー(HV、PHV、EV、FCV)の内訳をお答えください。

車種	社有車 総台数	エコカー内訳				エコカー計
		HV	PHV	EV	FCV	
乗用車	6,641	970	30	129	2	1,131
トラック	5,138	77		10		87
合計台数	11,772	1,047	30	139	2	1,218